



自民党

その声を
未来につなげる



◆プロフィール

1952年生まれ。春日部市在住。栄養士、料理研究家、フラワーアーティスト、大学・短大客員教授。1996年総選挙で初当選。衆議院議員9期、復興大臣、厚生労働副大臣、環境副大臣、外務大臣政務官、衆議院外務委員長、食育調査会長、消費者問題に関する特別委員長、自民党副幹事長、女性活躍推進本部長を歴任。「臓器移植法（議員立法の共同提案者）」「介護保険法」「食品ロスの削減の推進に関する法律」「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」の成立に携わる。生活の基盤である「食」が社会保障の充実につながると考え食育を推進している。また、義務教育への環境教育の導入も提言している。

◆主な役職歴

日本ラオス友好議員連盟会長、日本アイスランド友好議員連盟会長、日本カナダ友好議員連盟副会長 兼 幹事長、日本バオ友好議員連盟副会長、埼玉ラオス友好協会名誉会長、埼玉県栄養士会顧問、埼玉県卓球協会会長、埼玉県フェンシング協会会長、埼玉県ゲートボール協会会長、全国栄養士養成施設協会顧問

“日本再生・子育て支援・防災強化” つちや品子の6つの政策

1.『強い経済と物価の安定』

- 責任ある積極財政を通じて強い経済の実現
- 持続的安定的な物価の実現

戦略的財政出動等を通じて強い経済を実現し、所得増加等の生活の豊かさを実感できる経済の好循環を生み出します。国民の皆様が安心して生活できるように持続的安定的な物価を実現します。

3.『国土強靱化・防災』

- 激甚化・頻発化する自然災害への対策強化
 - インフラ老朽化対応
- ハード・ソフト一体となった防災・減災・国土強靱化の取り組みを強化します。気候変動の影響を踏まえ流域治水を推進し、住民の命を守ります。外郭放水路を補完するため江戸川の治水対策を進めます。自然災害からの復旧・復興を加速させます。

5.『子育て支援』

- 経済的支援の拡充
 - 事情に応じた支援を切れ目なく
- 子育てを社会全体で支え、少子化傾向の反転を目指します。児童手当等給付を拡充し、高等教育費・出産費用等の経済的負担を軽減します。子育てに困難を抱える世帯やヤングケアラーへの支援の強化、児童虐待防止のため、包括的な相談支援体制を構築します。

2.『外交・安全保障・経済安保』

- 同盟・連帯の強化と防衛力の抜本的強化
- 危機管理投資を通じて有事でも強い社会環境・基盤の構築

日米同盟その他価値観を同じくする国々との連帯を強化し、危機管理投資を通じて社会環境・基盤を整備し、国民の皆様の生命・財産、国の領土・領海・領空・資源を守ります。

4.『地域活性化』

- デジタル技術の活用
 - 地域を活性化するインフラ整備
- スマートシティ（デジタルを活用して暮らしやすい地域を作る）の構築を目指します。地元の悲願である、地下鉄7号線延伸、春日部駅付近連続立体交差事業、東埼玉道路延伸を推し進めます。

6.『女性活躍・社会保障』

- 全世代型社会保障
 - 女性の政治参加を応援
- 少子高齢化、人口減社会を克服し持続可能な社会保障を構築します。多様な人材の活用を広め、女性の政治参加を促します。

つちや
品子

自由民主党公認

前復興大臣